

第4回 鹿児島県臨床研修医合同研修会

去る平成23年7月23日（土）に第4回鹿児島県臨床研修医合同研修会が開催されました。同研修会は鹿児島県初期研修連絡協議会の主催で、年2回（1月と7月）開催しています。目的は鹿児島県内の初期研修医が、キャリアを形成していくことをサポートするために、研修の成果を発表する場として設けられました。

研修医の発表

今回は研修医の先生からの発表が10題ありました。それぞれの研修病院で経験した症例や、これまでの研修を通して感じたことを発表してくれました。7題は症例発表で、いずれも他の学会で発表できる程の貴重な症例であり、示唆に富む症例ばかりでした。3題は研修体験の発表でした。各病院とも、それぞれの特徴を十分に生かした研修プログラムを作成していますが、研修医はそれに応えて多くの事を吸収しており、充実した研修を送っているようです。発表の態度は堂々としたものであり、また発表に対する研修医からの質問も活発であり、頼もしく感じました。

当院からは毛利翔悟先生が、「急性広範前壁心筋梗塞～僕とエコーの3カ月～」の演題で発表しました。心不全を繰り返す高齢女性の広範前壁心筋梗塞の患者さんの症状や検査所見を論理だてて評価しており、急性期と退院するまでの治療の経過を丁寧に発表してくれました。特に心エコー検査に焦点をあてて心筋梗塞後心膜炎の診断をし、繰り返す心不全の早期発見と治療後の評価をしていくことで、細かく患者さんを観察していくことの重要性を感じ取ったようでした。今年4月に研修が始まったばかりですが、この3カ月で見違えるように成長しています。スライドの途中には、助言を頂いたコメディカルや、指導医の写真もあり、多くのスタッフと関わり、多くの事を学んでいることが発表を通して感じとることができました。

医学講演

研修会では、医学講演もあり、今回は私が、『ここまでは診よう！「不整脈」』と題して2つのポイントについて話をさせていただきました。

一つは突然死の予防についてです。突然死の多くは心室性不整脈ですが、突然死にいたる不整脈を捕まえることは非常に困難です。1980年に植込み型除細動器（ICD:implantable cardiac defibrillator）が最初に人に植込まれ、その後の大規模臨床試験では、不整脈の有無に関わらず心不全症状のある心機能低下（左室駆出率:35～40%以下）症例においてICDが有意に突然死を減らしたとの報告が相次ぎました（図3）。現在では突然死の一次予防目的で、心不全症状のある心機能低下患者さんにはICDの植込みが適応となっており、不整脈の有無は関係ありません。

もう一つのポイントは、発作性上室性頻拍症の患者さんが受診された時の頻拍症の心電図の読み方についてです。頻拍時心電図の読み方は、図4に示しています。今後、上室性頻拍症の患者さんが受診されたら、このポイントを思い出しながら診療にあたってもらいたいと思います。

以上が今回の研修会の内容ですが、指導して下さった先生、スタッフ、コメディカルや事務部の方々のご協力に大変感謝します。今後とも研修医のご指導よろしく申し上げます。

（文責:臨床研修医担当 循環器科医長 塗木 徳人）

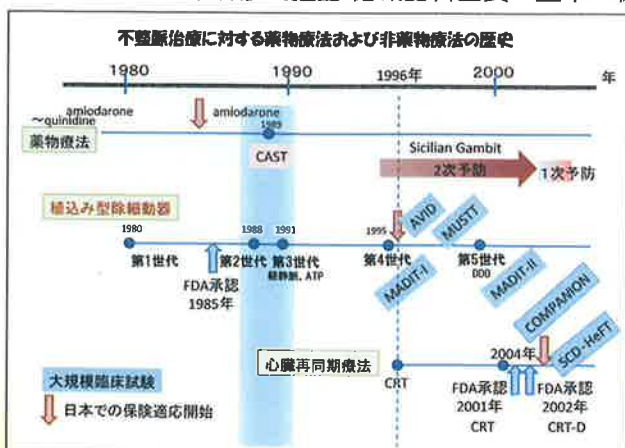


図3

P波形による頻拍の鑑別（II, III, aVF誘導）

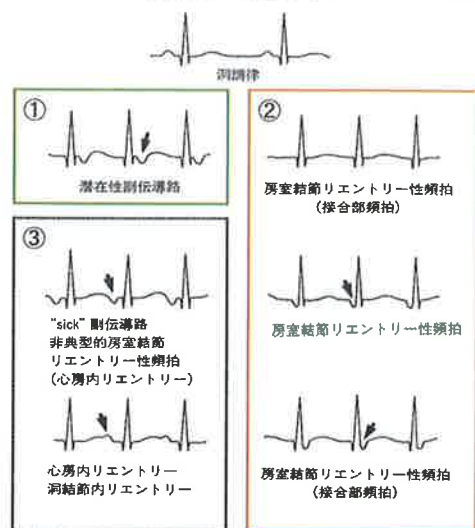


図4

新 人 看 護



私たちは4月から新人看護師としてICUに配属になりました有村と上原です。ICUはさまざまな科の重症患者様が入室されるため、多くの知識と看護技術が求められ日々奮闘中です。看護師・社会人として1年目・・・自分たちが思っているようにうまく行動する事が出来ずに葛藤する事もあります。葛藤を抱えながらも、中元師長をはじめ先

輩看護師から指導をいただき毎日がとても勉強になり安心して働く事が出来ています。まだまだ未熟な私たちですが、毎日を大切に成長していきたいと思っています。新人看護師として笑顔を絶やさず明るく元気に頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。



私たちは4月から東3階病棟に配属された新人の矢崎と田村です。東3階病棟では産婦人科を初め様々な診療科の患者さまの看護をさせていただいています。入職したばかりの頃は、社会人としても看護師としてもやっつけられるか不安な毎日を過ごしていましたが、先輩の方々にご指導をいただきながら患者さまへの関わり方や看護を学ん

でいます。学生時代に培った知識では足りず、日々多くの課題にぶつかっていますが、徐々に理解し看護できる事の楽しさも感じています。まだまだ先輩に迷惑をかけてしまうことありますが、少しでも早く独り立ちできるように日々の業務を大切にしながらがんばっていきたくと思います。今後ともよろしくお願いします。



私たちは東4階病棟の新人3名です。現在入職して4ヶ月が経ちました。外科病棟ということもあり、日々めまぐるしく変わる患者様へのケアに追われている毎日です。しかし、ほとんどの患者様が手術前から手術後まで関わることができ、術前の不安の軽減から、患者様が回復していく過程に携われることに喜びを感じています。

まだまだ、技術や知識が未熟な私たちですが、先輩方のように患者様の退院後の生活を見据えた関わりや、患者様の小さな変化にも気づけるように日々努力して行きたいと思っています。これからも3人でフレッシュな力を合わせて笑顔いっぱいがんばります。



看護師として働きはじめ4ヶ月になりました。初めて関わる疾患や技術、治療ばかりで勉強しても追いつかないことも多く、分からないことばかりですが、先輩や患者さまに“看護とは何か”を教えていただいています。学生時代とは異なり、患者様の命を預かっているという責任の重さを感じている毎日です。東5階病棟は重症で看護必要度の

高い患者様が多いので、日々奮闘しています。先輩看護師や医師などスタッフに支えられ、精神的なフォローもいただきながらそれぞれの理想の看護師に一步一步近づいていけるように日々励んでいます。私たちは患者様の笑顔や励ましの言葉に、看護師としての喜びややりがいを感じながらこれからも頑張ります。

師 奮 闘 記



私たち4人が勤務している東6階病棟は第2循環器科であり、当院の3本柱となる循環器疾患の治療・看護を行っています。私たちは現在、心臓カテーテル検査やステント治療を行う患者様を中心に受け持たせてもらい、患者さまへの看護について日々学ばせてもらっています。循環器疾患は内容が幅広く、治療方法もさまざまであるため、

覚えることや勉強することがとても多いです。また、病棟では検査や治療が多いため、業務も忙しく、精一杯の日々ですが、毎日がとても充実しています。まだまだ知識も技術も未熟な私たちですが、少しずつ自分たちでできることを増やしていき、はやく先輩たちのように働くことが出来るよう頑張っていきたいと思います。



今年4月から採用されました田原、永井野、藤崎、松村です。東7階病棟では主に心臓カテーテル検査・治療前後の看護や心疾患の患者様の看護、糖尿病などの内分泌疾患の患者様の看護をしています。また、患者様は生活の中で気をつけていかなければならないことも多く、食事や内服管理など自己管理が出来るように指導・

情報提供を患者様やご家族に行っています。まだまだ先輩方に比べて知識や技術も浅く、至らない点も多いですが、先輩方に時に優しく、ときにご指導いただきながら、新人4人で相談したり励まし合って、これからも患者様に合った看護が出来るように頑張っていきたいと思います。



私たちは、西3階病棟に勤務している新人3名です。西3階病棟は、消化器内科・耳鼻咽喉科の混合病棟です。主に緩和ケア・手術・化学療法・放射線治療・内視鏡などの検査をされる患者様が入院しています。入職から3ヶ月経過し、処置やケアを行う上で、知識・技術面でまだまだ未熟ですが、日々頑張っています。また、看護学生の時

には経験できなかったことが、少しずつ出来るようになり、看護師になったと実感するとともに看護師としての責任も強く感じています。私たちはこれから、患者様に安心していただけるような看護を目指すとともに、患者様ひとりひとりに合った寄り添う看護を行い、信頼関係が築けるよう努力していきたいです。



西4階病棟は血液内科と泌尿器科の病棟です。病棟の特徴としては血液疾患では抗がん剤治療の看護が多く、輸血や抗生剤を多く取り扱います。また、骨髄移植の看護もこの病棟特有の看護です。泌尿器科ではOP前後の看護や抗がん剤、放射線治療などを主にしています。西4階病棟は患者様の経過が長いのでひとり一人の患者様と

じっくり関わることが出来ます。そして患者様の頑張る姿に日々励まされています。毎日患者様達の関わりの中で未熟さを感じたり、喜んでくれる患者様の言葉に看護師として働ける喜びを感じたりしています。まだまだ未熟な私たちですが少しでも病気と生きる患者様の支えになれるよう頑張っていきたいと思います。

新任紹介

小児科
レジデント



にのみや ゆみこ
二宮 由美子

平成23年7月より小児科に赴任致しました。小児循環器疾患をはじめとして、患者様から多くのことを学ばせて頂きたいと思っております。育児中でもあり色々とお迷惑おかけしますが、自分にできる範囲で精一杯小児医療に貢献できるよう頑張りたいと思っております。趣味はテニスなどスポーツで、体だけはよく動きます。今後ともご指導のほど宜しくお願い致します。

第二循環器科
レジデント



よしなが はるか
吉永 遥

初期研修終了後第二内科に入局し、平成23年7月から3か月間血液内科、第二循環器科レジデントとして勤務させて頂きます。慣れないことが多くお迷惑おかけすることが多いと思っておりますが、ご指導のほど宜しくお願い致します。

内科
レジデント



やました ひるか
山下 容雅

平成23年7月より勤務させて頂いております。血液内科に2か月、第二循環器科に1か月の計3か月間内科レジデントとして診療に取り組んでいきたいと思っております。当院での勤務は初めてのため不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思っておりますがご指導のほどよろしくお願い致します。

9

月看護研修のご案内

主催 鹿児島医療センター看護部教育委員会

集合教育

ストーマケア

- 日 時：平成23年9月13日（火）
18時30分～19時30分
- 場 所：会議室
- 講 師：皮膚排泄看護認定看護師
橋口 智恵
- 対象者：医療関係者

がんエキスパート研修

看護職への心理的ケア

- 日 時：平成23年9月21日（水）
14時～16時
- 場 所：研修棟 3階
- 講 師：臨床心理士
木ノ脇 真弓
- 対象者：医療関係者

脳卒中エキスパート研修

家族ケア

- 日 時：平成23年9月28日（水）
14時～16時
- 場 所：研修棟 3階
- 講 師：脳卒中リハビリ看護認定看護師
井出 智子
- 対象者：医療関係者

※参加ご希望の方は準備の都合上、各コース3日前までに企画課（松尾）までご連絡下さい。院外の方のご参加をお待ちしています。

電話 099-223-1151（内線 7303） FAX 099-226-9246

循環器合同カンファレンスへのお誘い

当院では、毎週月曜日午後6時から手術摘要症例などについて、循環器内科・心臓血管外科・麻酔科・リハ科など合同で症例検討会を開いています。オープンですので治療方針等について悩んでいらっしゃる症例がありましたら提示していただき、一緒に検討できればと思います。遠慮なくご参加お願い致します。

問い合わせ先

鹿児島医療センター 地域医療連携室

電話 099-223-1151（内線 7344） FAX 0120-334-476



毎日暑い日が続いておりますが、幸い夏が大好きな私は絶好調です。

今年は、ここ数年少なかった台風が多く発生している印象です。鹿児島市内に直撃というのはまだないものの油断はできません。

さて、当院では上記の通り毎週月曜日に循環

編集後記

器合同カンファレンスを実施しております。参加をご希望される先生方には当連携室まで連絡を頂ければ幸いです。宜しくお願い致します。（担当:井上）

■お問い合わせ先

独立行政法人
国立病院機構

鹿児島医療センター（循環器・脳卒中・がん専門施設）

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号（代）TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246

http://www.kagomc.jp

脳卒中ホットライン ▶ **090(3327)5765**

【地域医療連携室】 濱田・今泉・永重・井上・神崎・森・中島・吉留・木ノ脇・水元・酒井

直通電話 ▶ 099(223)4425 フリーダイヤルFAX専用 ▶ 0120(334)476

※休日・時間外は当直者で対応します。

